

「あら？尿が溜まってないですねえ」を減らす『尿ため説明カードの運用』

膀胱や子宮卵巣の検査では膀胱への尿ためが必要であるが、何のためにどれくらい尿ためする必要があるのかどうかを患者さんに理解してもらうために説明カードを受付に設置した。

受付でこのカードを渡して簡単に説明し、患者さんには尿ためしている間に検査の内容がわかるようになっている。

このカードを運用し始めてから尿ため不足で再度尿ためを指示する頻度が30%減少した。

